



ひすい

系魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 7月号 (No. 7)

令和3年7月9日発行

ありたい自分を“七夕の願い”に



今年も6月下旬に笹竹を「多目的室の階段」と「わひわひ広場」に設置し、短冊や七夕飾りを付けました。色とりどりの願いを書いた短冊が吊され、辺り一面にぎやかで楽しい雰囲気が漂うスペースとなっています。“ひすいっ子”と“わかぼっ子”（糸小）の願いが叶うよう、みんなで星に祈っています。元々の七夕の願いは、織姫にあやかってはた織りや裁縫の上達を願うものでした。そこから、習い事などが上手になるように願い事をするようになったと言われています。

ところで、「〇〇ができるようになりますように」と書きますが、そのために努力するのは子どもたち自身です。炭治郎も“呼吸”を身に付けるために一生懸命にがんばりました。是非、見習いたいものです。以下に子どもたちの願いの一部を紹介します。

- ☆ ともだちと なかよく たくさん あそべますように
- ☆ まいにち げんきに すごせますように
- ☆ ひらがなが うまく かけますように
- ☆ あいぱつどで たくさん べんきょう したいです
- ☆ 大きくなったら スーパーマーケットの店員になりたいです





妙高宿泊体験学習



～ 妙高アドベンチャー ～



6月24日～25日、小学部5・6年生と中学部生で、妙高青少年自然の家に1泊2日で宿泊体験学習に行ってきました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のために中止せざるを得なかった行事の一つです。今年は感染防止対策を確実にいき、実施しました。

24日は雨が降ったり止んだりの天候でしたが、25日はからりと晴れて妙高の大自然の中で思いっきり活動することができました。1日目は、主に館内で活動しました。円の中央にあるボールを1m程離れたところから取るゲームでは、周りの友達から倒れないように体を支えてもらいながら手を伸ばしてボールを取りました。助け合うことの大切さ、友達への感謝の気持ちを体得することができました。2日目は、屋外での自然探検でした。妙高山を間近に見ながら、妙高ならではの草花や昆虫などを探しました。糸魚川も自然豊かな地ですが、生活する地域から離れた場所での活動は新鮮で、新たな発見がたくさんありました。宿泊体験学習は、相手のことを考え、互いに助け合い協力し合うことを身に付ける貴重な学習の場です。学校生活においても今回の体験を生かしていきたいと考えています。

ところで、親元を離れての集団生活のため、自らの生活力を発揮する場でもありました。食事の仕方、衣類の着脱、洗体の仕方など、子どもたち一人一人の姿は異なります。助けてくれる職員はいますが、すぐには手を出すことはありません。「できることは、自力で行う」が基本です。自立への大切な足がかりとして、自分でできる部分を少しでも増やしていくよう支援していきたいものです。

フリー参観・PTA環境整備作業



7月5日(月)のフリー参観日には、多くの保護者の皆さんにお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちは家の人に良いところを見せようと、とてもはりきっていたように思いました。また、PTA環境整備作業で、校舎内の窓拭き作業をしていただき、感謝申し上げます。職員だけではどうしても手が回らない場所を拭いていただいたことで、校舎が明るくとてもきれいになりました。さらに、学校保健委員会に出席された皆さんは、丸一日、学校の活動にご参加いただいたこととなります。厚くお礼申し上げます。「家庭でできる応急処置」がテーマでしたが、いざというときの対処に生かしていただければと思います。



学校では、保護者の皆さんが仕事を休まれ、何度も学校へ足を運んでいただくことが負担になると考え、今回のような日程で活動を組んでいます。ご意見等がありましたらお寄せください。